

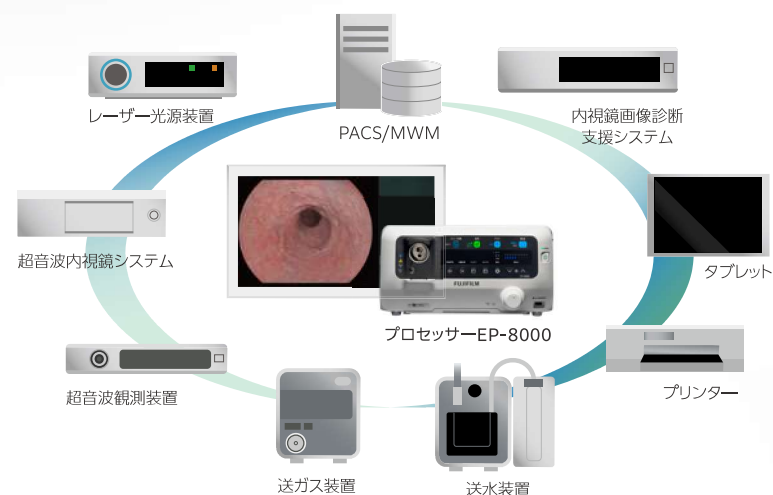
医療の各分野で培った富士フィルムの技術でさらなる高画質化へ

プロセッサEP-8000は 富士フィルムがX線・超音波領域で培った画像処理技術に応用し、遠景まで明るくてノイズの少ない高画質画像を描出します。



EP-8000を中心に周辺機器を制御・連携

プロセッサEP-8000は、3G-SDI・DVI・アナログ出力に対応し、外部映像入力はデジタル2入力を有し、内視鏡検査に必要な情報を内視鏡観察モニターに表示します。周辺機器との連携において、プロセッサで制御可能なさまざまな機能を有しています。



奥まで明るく
ハレーションを抑えた
シャープな画像

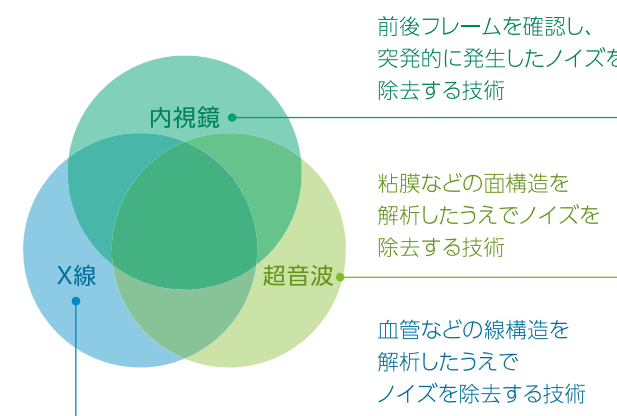
富士フィルムのノイズ低減技術であるTNR (Triple Noise Reduction)と調光・階調制御技術であるE-DRIP (Extended Dynamic Range Image Processing)の組み合わせにより、奥まで明るく鮮明でハレーションを抑えた画像を実現します。



TNR Triple Noise Reduction

ノイズ低減技術

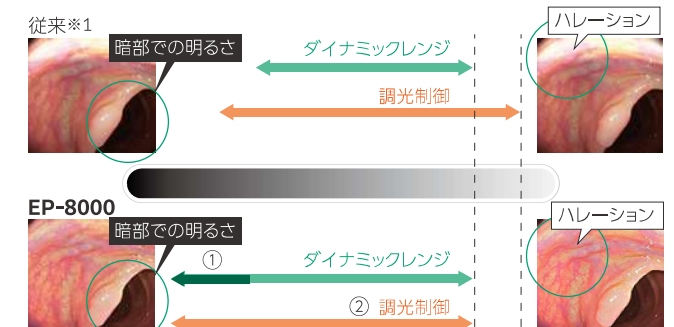
EP-8000では従来※1の内視鏡のノイズ低減技術に加えて、X線、超音波のノイズ低減技術を搭載しました。



E-DRIP Extended Dynamic Range Image Processing

調光・階調制御技術

ノイズ低減技術の向上により、ノイズ抑制とダイナミックレンジ※2の拡張を両立しました。加えてそれに適した調光制御をすることで、奥まで明るく鮮明でハレーションを抑えた画像を実現します。



①ダイナミックレンジが暗部側に拡張
②拡張したダイナミックレンジの範囲に合わせた調光制御

※1 プロセッサ VP-7000 ※2 画像をつぶれなく再現できる明暗の範囲